

要	12-1
---	------

- (1) 第3項が3、第8項が -729 となる等比数列 $\{a_n\}$ について、一般項 a_n 、および初項から第 n 項までの和 S_n を求めよ。ただし、 $\{a_n\}$ の各項は実数であるとする。
- (2) 初項が -3 、第4項が 24 である等比数列がある。この数列の初項から第 n 項までの和が初めて 100 を超えるとき、 n の値を求めよ。ただし、この数列の各項は実数であるとする。

要	12-2
---	------

- (1) 等比数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とする。 $S_{10} = 2$ 、 $S_{20} = 6$ であるとき、 S_{30} の値を求めよ。
- (2) 異なる3つの数 3 、 a 、 b があり、数列 3 、 a 、 b は等比数列をなし、数列 b 、 3 、 a は等差数列をなすとき、 $a = \boxed{\text{アイ}}$ 、 $b = \boxed{\text{ウエ}}$ である。